

美術工芸学科 基礎美術コース カリキュラムツリー

		専門課程			創造学習課程		
カテゴリー (大分類)	インテリジェンス	テクニカルスキル	クリエイション・プレゼンテーション	キャリア	基礎教養科目群	キャリア創出科目群	
カテゴリー (小分類)	事象を感じ捉える	技術から智恵に至る	構想を具現化する	世界を理解する	術教養/表現基礎/学習基	キャリア/プロジェクト/語学/資格	
4年			(構想を具現化する) 卒業研究・制作 (陶・漆・書などの作品、もしくは研究論文で卒業制作) 4				
			(構想を具現化する) 創造表現XIIIF 展示計画とポートフォリオ制作 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XIF 自主制作 I 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XF 漆芸 III 2				
3年			(構想を具現化する) 創造表現IXF 日本文化研究と論文 2				
				(世界を理解する) 創造表現VIIF 起業戦略 2			
		(技術から智恵に至る) 創造表現VIIIF 複合制作 II (絵画と書) 2					
		(技術から智恵に至る) 創造表現VIF 作陶と茶の湯 II 2					
		(技術から智恵に至る) 創造表現VIF 漆芸 II 2					
	(事象を感じ捉える) 表現研究IV 染色科学論 2			(キャリア科目) 創造表現IVIF 日本文化プレゼン 英語 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究III 芸術と写真 2	(技術から智恵に至る) 創造表現IIIIF 能楽と謡曲 2		(世界を理解する) 工芸各論 専任オムニバス講義 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究II 平面材料学 2	(技術から智恵に至る) 創造表現IIIF フィールドワーク (工房調査) 2		(世界を理解する) 美術各論 専任オムニバス講義 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究I 立体材料学 2	(技術から智恵に至る) 創造表現IIF 複合制作 I (書と茶の湯) 2		プロジェクト演習 I (社会実装科目) 社会の様々な場所で、美術工芸学科の専門性を行かした実践活動をおこなう 2	(表現基礎) ビジネスソフト基礎 2		
				(世界を理解する) 創造演習VIIF デジタルデザイン (WEB) 2	(芸術教養基礎) 色彩論 2		
2年			(技術から智恵に至る) 創造演習VIIIF クリスティーズNY研修 2	(世界を理解する) 専門英語 I 英語の基礎 2			
			(技術から智恵に至る) 創造演習VIF 漆芸 I 2				
	(事象を感じ捉える) 図学 図としての空間表現 2	(技術から智恵に至る) 創造演習VIIF 造花自然 II (立花を日常とする) 2					
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史IV 彫刻史 2			(世界を理解する) 創造演習IVIF デジタルデザイン (DTP) 2			
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史III 工芸史 2	(技術から智恵に至る) 創造演習IIIIF 和歌と書 2					
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史II 絵画史 2	(技術から智恵に至る) 創造演習IIIF 作陶と茶の湯 II 2					
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史I 現代美術史 2	(技術から智恵に至る) 創造演習IIF 絵巻と掛け軸 2					
	(事象を感じ捉える) 美術概論II 美術概論 2			(世界を理解する) 創造基礎VIIF 読む書 II (古来の文献が読め記せる) 2	(表現基礎) 表現ソフト基礎 2		
	(事象を感じ捉える) 美術概論I 美術概論 2	(技術から智恵に至る) 創造基礎VIIIF 禅体験と茶(室町文化の背骨に触れる) 2				語学科目群 2	
	(事象を感じ捉える) 工芸概論II 工芸概論 2	(技術から智恵に至る) 創造基礎VIIF 意匠と障壁画(日本絵画の空間) 2		(世界を理解する) コンピューター演習A (教職学生向け) adobeソフトの基本操作 2			

日本文化の身体化を通じて新たな視点と能力を獲得した学生には大学院への進学を促すと同時に、完成度の高い「陶」と「漆」の分野の制作を行えるように育成する。作家として修練の戸口に立った学生には弟子入りや訓練校での研鑽を紹介。また日本文化プランナー職はこのコースを卒業する学生のメインステージとする。また教職は本コースの重要なキャリア先となるので、継続的な支援を図りたい。

本コースは厳選した項目を繰り返し身体化する事を重視している。技術習得としては作陶と木漆という二本柱を3年間。能楽も隔年ではあるが3回生での定着を試みる。また京都の伝統工房のリサーチを通じて、職人として自立を目指す学生の要望に応える。キャリアでは、日本文化のコンシェルジュやコーディネーター職の要望が産業界に高く、英語による日本文化紹介が可能になるカリキュラムと、起業を促す講座を設けている。

一回生で経験した、「茶」「立花」「茶陶」を繰り返し履修。それに加えて「木漆」の実習と和歌や連歌の手ほどきを受ける。最終の後期3期目には、クリスティーズNYとボストン美術館で東洋美術を欧米がどのように評価需要しているかをリサーチする。キャリアでは情報発信力を育成するために、グラフィックとウェブデザインを学ぶ

1年

室町時代に確立され、現在も世界に影響を与えている「茶」「立花」「能楽」「禅」「水墨画」「茶陶」を中心に、日本文化の伝承方法として長く受け継がれた身体を通じて稽古という手法によって師より学生に伝達を行う。キャリアは特に重要で、1年を通じて古典を読む事を目的に名筆の書に習う

(事象を感じ捉える) 工芸概論 I 工芸概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎 VF 作陶と茶の湯 I (茶の湯で使用する椀を自作する)	2	(世界を理解する) コンピューター演習B (教職学生向け) adobeソフトの基本操作	2			
				(世界を理解する) 創造基礎 IVF 読む書 I (古来の文献を読み写す)	2			
		(技術から智慧に至る) 創造基礎 III F 能楽と身体 (世阿弥の思想に触れる)	2					
		(技術から智慧に至る) 創造基礎 II F 茶杓と障壁画 (日本人の美意識を探る)	2			(総合基礎) グループワーク ショップ	6	
		(技術から智慧に至る) 創造基礎 I F 造花自然 (立花の自然観に親しむ)	2			(総合基礎) コミュニケーションペーパーワーク	6	
							総合基礎科目群	